

メタルキャタライザーキット

取付説明書



Pursuing the Ultimate in Engine Performance and Efficiency.
HKS Company Limited.

取付けは必ず専門業者に依頼してください。

本書は取付け作業前、ご使用前に必ずお読みください。
本書はお読みになった後も本製品の側に置いて活用してください。

この度はHKS製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます
本製品は、下記に示す車両のみ取付け可能です。
万が一、お車と本製品の型式等が異なる場合には、速やかにお買い上げの販売店にご連絡ください。

商 品 名	車種別メタルキャタライザーキット
用 途	自動車専用部品
コ ー ド No.	33005-AN006
取付説明書品番	E65460-N22230-00
メ ー カ ー 車 種	ニッサン フェアレディZ 3BA-RZ34
エ ン ジ ン 型 式	VR30DDTT
年 式	2022年8月～
備 考	

※ 上記の適合情報は、2025年1月現在の情報です。
最新の車両適合に関しましては、弊社ホームページをご確認ください。
<https://www.hks-power.co.jp/product/exhaust/index.html>

改訂の記録

改訂 No.	日付	
3-3.01	2025/01	初版

二次元コードから
最新の取付説明書を
閲覧・ダウンロード



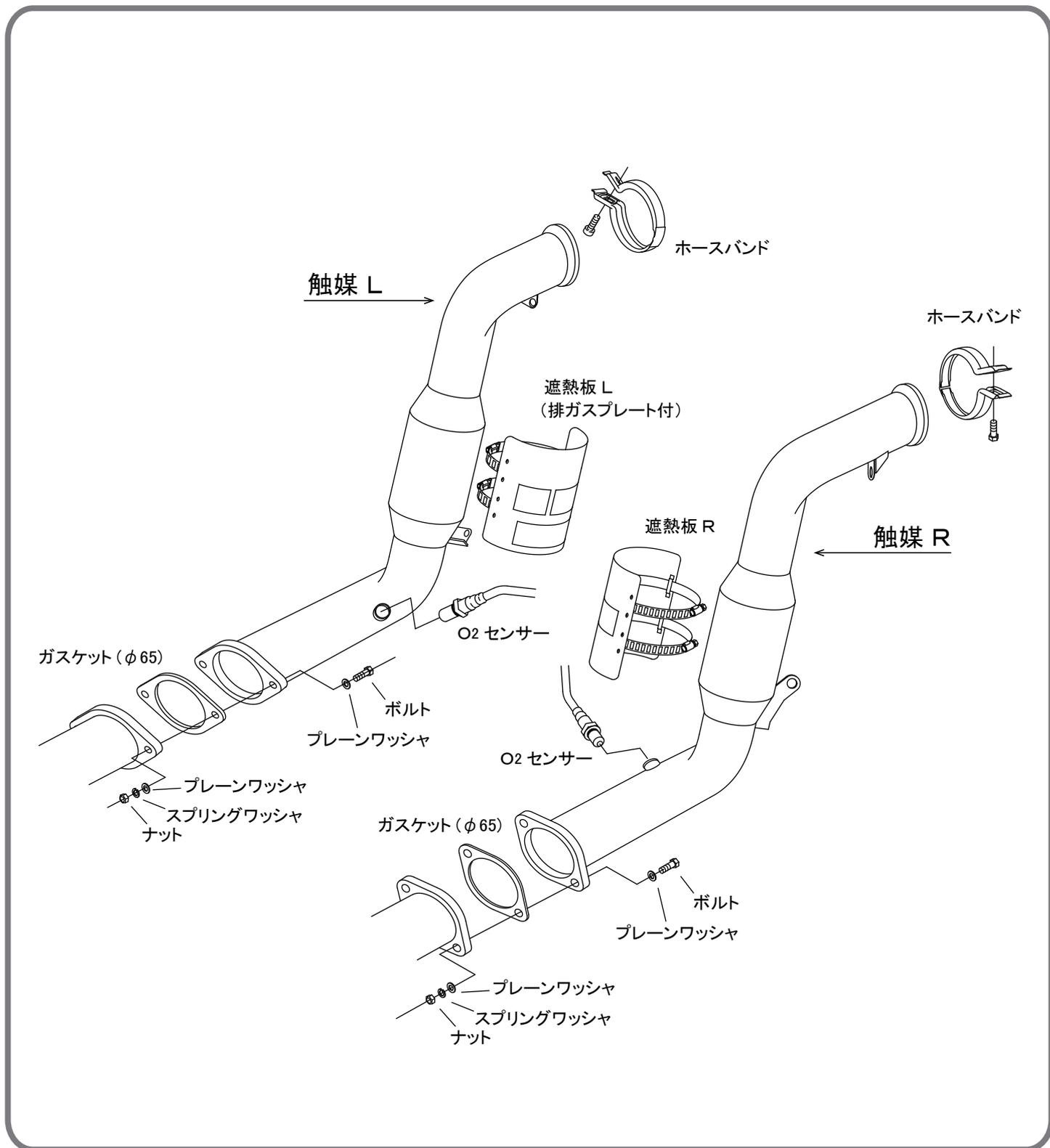
HKS METAL CATALYZER

パーツリスト

連番	品名	数量	備考
1	触媒 L	1	
2	触媒 R	1	
3	遮熱板 L (排ガスプレート付)	1	
4	遮熱板 R	1	
5	ボルト (M10 P1.5 L40)	4	
6	ナット (M10 P1.5)	4	
7	スプリングワッシャ (M10)	4	
8	プレーンワッシャ (M10)	8	
9	フランジナット (M10 P1.25)	3	
10	タイラップ (大) T60R-W L=251 黒	1	
11	タイラップ (小) T30R-W L=150 黒	3	
12	サーモシール 300x100	2	
13	ホースバンド	4	
14	ガスケット (φ65)	2	
15	O ₂ センサーハーネス	1	
16	ブラケット (CLIP)	1	
17	取付説明書・取扱説明書	1	本書
18	排ガス試験証明書	1	
19	保証書	1	

● パーツリスト内の部品を別途購入する際は、お買上げの販売店にお問い合わせください。

製品組付図



HKS METAL CATALYZER

A/F・O₂センサーの取外し・取付けについて



注意

- 本製品の取付後にエンジンチェックランプ「A/F・O₂センサー異常」が点灯する場合は、A/F・O₂センサーまたはセンサーハーネスの破損、接触不良などが起きているおそれがあります。
A/F・O₂センサーおよびセンサーハーネスを点検し、破損している場合は修理・交換をしてください。

□センサー不具合発生理由

- ・センサー断線
- ・センサーコネクタ接触不良
- ・センサーヒーター一部異常
- ・車両側ハーネス断線および接触不良



注意

- A/F・O₂センサーを脱着する際、センサー及びセンサーハーネスを破損させないよう、必ず下記の事項を守って作業を行ってください。

- ・センサーコネクタを取外してからセンサーを取外す。
センサーコネクタを付けたままセンサーを外すとハーネスがねじれて断線することがあります。
- ・取外したセンサー部に油分・汚れを付着させない。
油分や汚れが付着したまま使用するとセンサーが機能しない場合があります。
- ・センサー異常によりセンサーの交換をおこなった場合は、コンピュータ（ECU）をリセットしてください。
センサーを交換しただけでは、ECUにエラー記録が残っていて、「エラー表示」される場合があります。

1. 純正部品の取外し

純正部品の取付け、取外しはメーカー発行の整備書と本書を併用して作業を行ってください。整備書がお手元に無い場合は、メーカーにてご購入ください。

(1) 純正L触媒、純正R触媒、A/Fセンサー、O₂センサーを取外してください。

(2) 取外した純正クランプ及び純正ガスケットは再使用不可部品です。

取り付けの際は新品部品を別途ご用意ください。

- ・ 純正クランプ 品番：14464-5CB0A
- ・ 純正ガスケット 品番：14445-5CB0A

アドバイス

- センサーの取外しは、センサーハーネスを損傷しないように気をつけてください。
- 取外した純正L触媒、純正R触媒は再使用しませんので保管してください。
- O₂センサー、各純正ブラケットは再使用します。

HKS METAL CATALYZER

2. HKS触媒の取付け

(1) HKS触媒L・Rへ取外した純正O₂センサーを取付けてください。

締付トルク N・m(kgf・m)

純正O₂センサー

50 N・m (5.1 kgf・m)

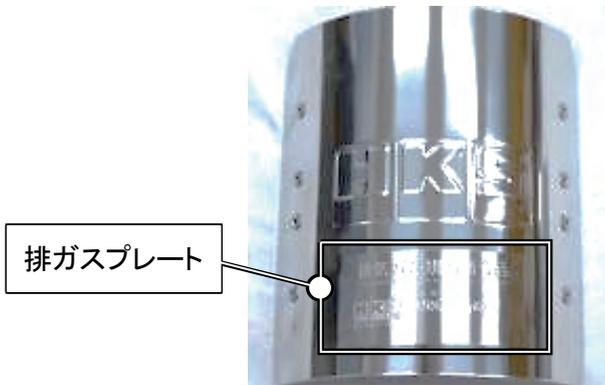
(2) 付属されている遮熱板を図1-1～図1-4を参考に仮付けしてください。

※ 触媒L側へ使用する遮熱板は排ガスプレート付きを使用してください。

※ 遮熱板のホースバンドはボルトが路面側に向くように仮付けすると位置決めしやすくなります。

図1-1 触媒L側 遮熱板単体

※ 撮影のため青色の保護フィルムは剥がしております



HKS遮熱板排ガスプレート付 ×1 ホースバンド ×2

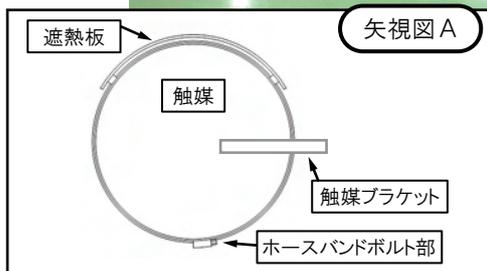
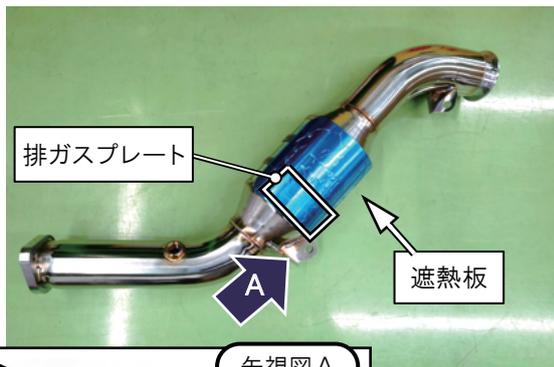
図1-2 触媒R側 遮熱板単体

※ 撮影のため青色の保護フィルムは剥がしております



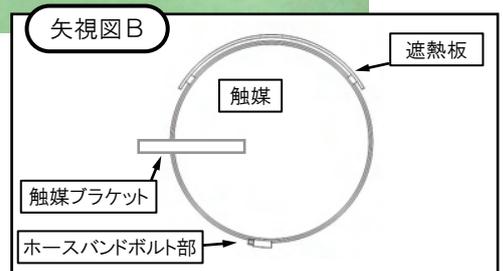
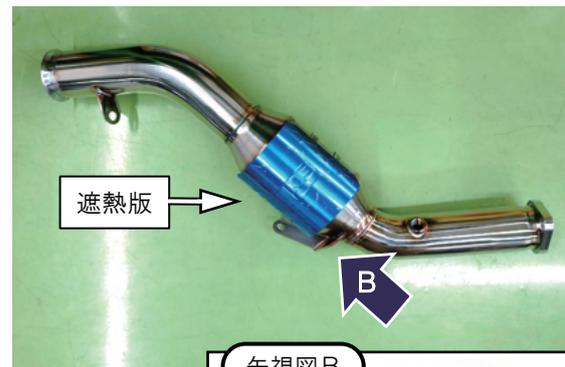
HKS遮熱板排ガスプレート無 ×1 ホースバンド ×2

図1-3 HKS触媒 L側



HKS遮熱板排ガスプレート付 ×1 ホースバンド ×2

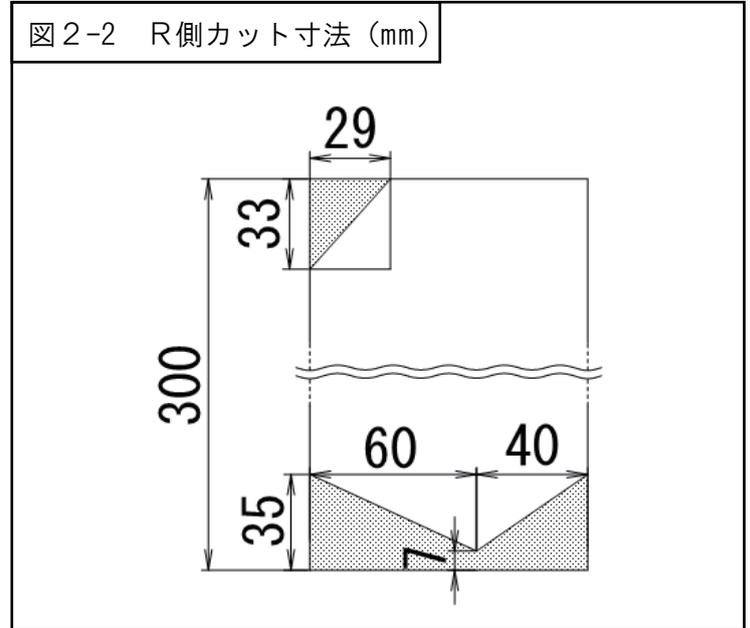
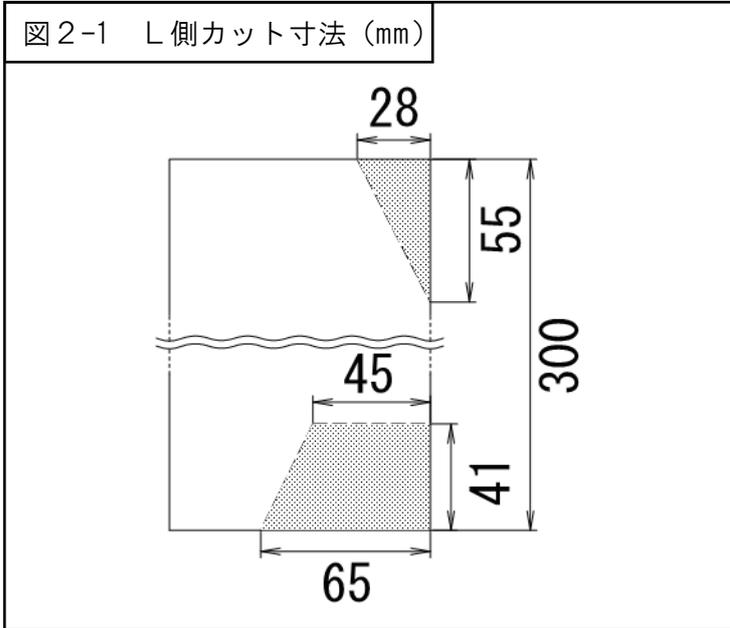
図1-4 HKS触媒 R側



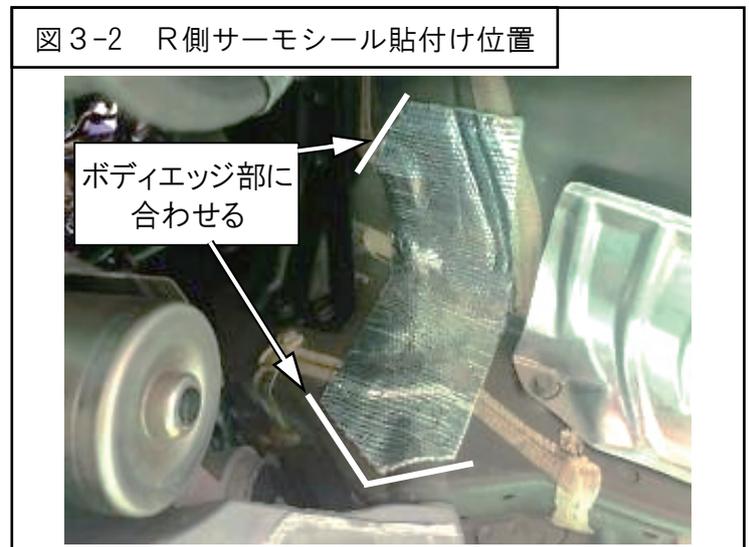
HKS遮熱板排ガスプレート無 ×1 ホースバンド ×2

(3) 付属されているサーモシール(300×100) 2枚を車両側へ貼り付けます。

① サーモシールを図2-1、図2-2を参考にカットしてください。



② 清掃及び脱脂を行い①でカットしたサーモシールを図3-1、図3-2の指示に合わせて貼付けます。



(4) 付属されている延長ハーネスとブラケットを車両側へ取付けます。

① 車両R側に付属の延長ハーネスとタイラップ(小)、タイラップ(大)を使って図4-1の固定位置を参考に取付けます。
 ミッション側面に延長ハーネスのメス側コネクタ部をタイラップ(大)で固定し、ハーネス部に残りのタイラップ(小)を使って等間隔に固定してください。

 注意	<ul style="list-style-type: none"> ● タイラップ固定は図示された箇所以外の固定やハーネスをキンクさせた状態で固定、過度な締付けを行うと製品の破損や思わぬ事故に繋がる可能性がありますのでおやめください。
---------------	---

HKS METAL CATALYZER

図4-1 車両R側 ミッション部

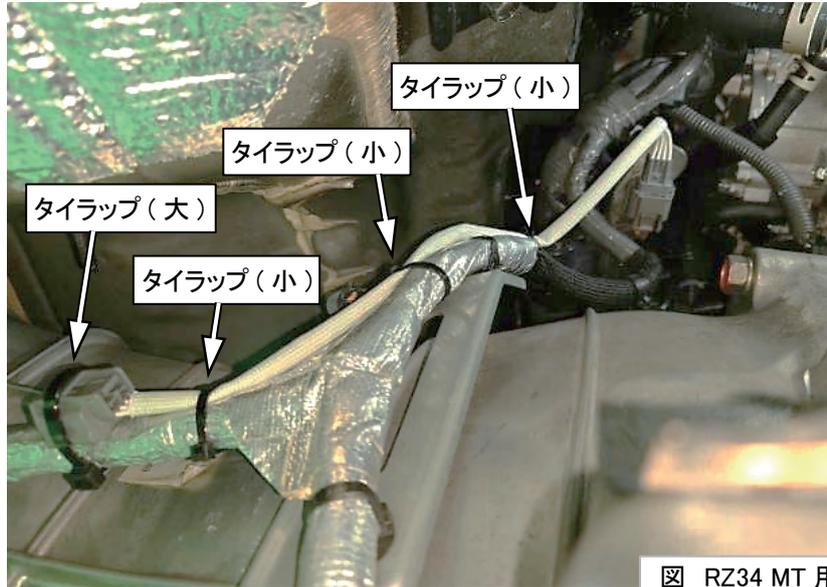
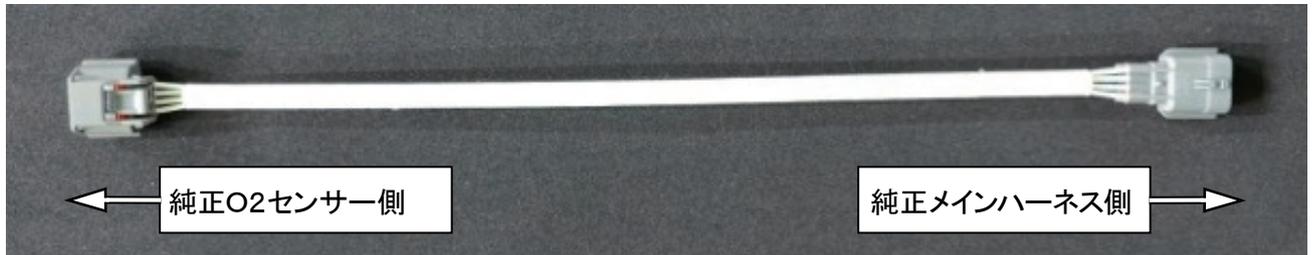


図 RZ34 MT 用

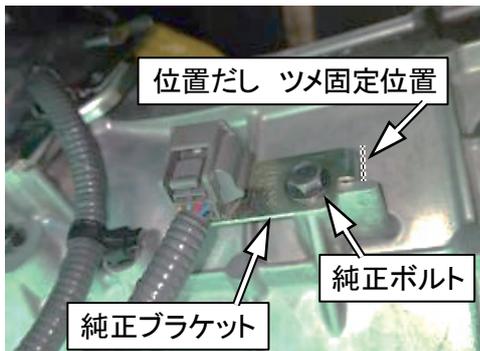
延長ハーネス (チューブ白色) × 1 タイラップ (大) × 1 タイラップ (小) × 3

図4-2 車両R側 ミッション部に使用する延長ハーネス (付属品)



- ② 車両L側に付属のブラケットを取付けます。
 ミッション側面の純正O₂センサーブラケットを固定しているボルトへ付属のブラケットを共締めします。付属のブラケットは、純正ブラケットのツメ固定位置と同様の位置で使用します。
 (図4-3 図4-4 参照)

図4-3 車両L側 ミッション部



純正ブラケット × 1 純正ボルト × 1

図4-4 車両L側 ミッション部



純正ブラケット × 1 純正ボルト × 1 付属ブラケット × 1

・L側 純正ブラケット 付属ブラケット部

締付トルク N・m(kgf・m)

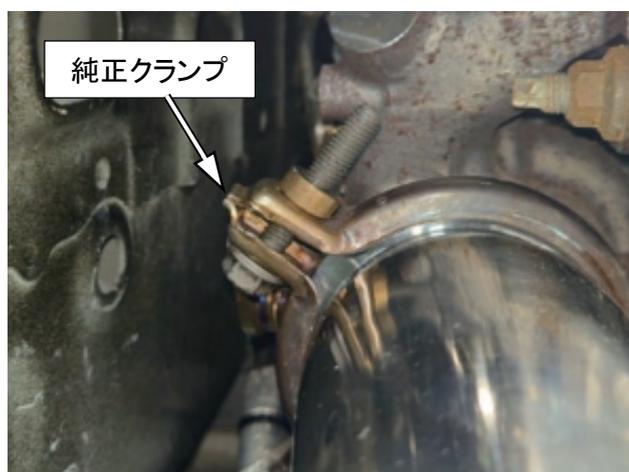
I. 純正ボルト

8 N・m (0.8 kgf・m)

(5) 純正触媒取付位置にHKS触媒を取付けます。

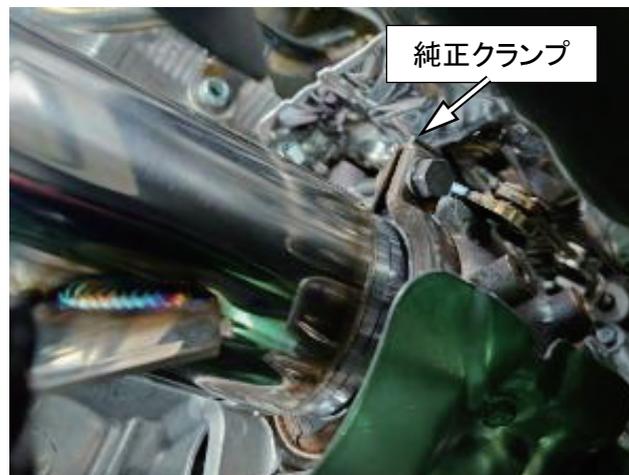
- ① HKS触媒のL・Rをそれぞれの純正ブラケットと純正クランプで仮付けします。(図5-1～5-6)
純正クランプの取付位置はメーカー整備書の取付方法に従って取付けてください。
純正クランプ取付けの際、純正クランプやターボチャージャー側のガスケットは再使用不可部品ですので、別途新品をご用意して取付けを行ってください。(P. 5参照)
各純正ボルトは再使用し、図5-3、図5-5、図5-6では、付属のフランジナット(M10 P1.25)を使用して仮付けしてください。

図5-1 車両L側 純正ターボチャージャー ↔ HKS触媒L



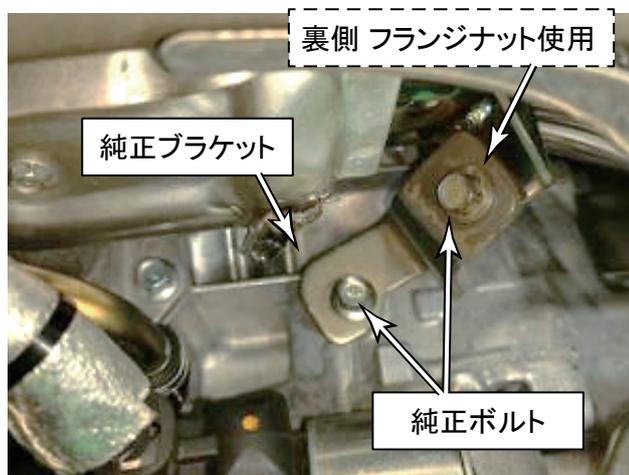
純正クランプ × 1

図5-2 車両R側 純正ターボチャージャー ↔ HKS触媒R



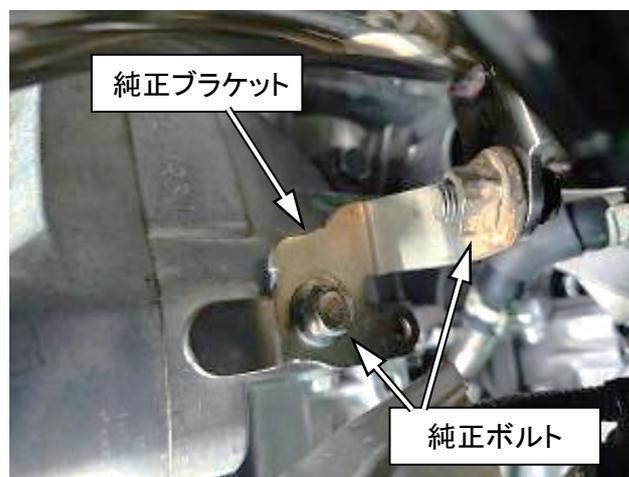
純正クランプ × 1

図5-3 触媒L 上流部



純正ブラケット × 1 純正ボルト × 2 フランジナット × 1

図5-4 触媒R 上流部



純正ブラケット × 1 純正ボルト × 2

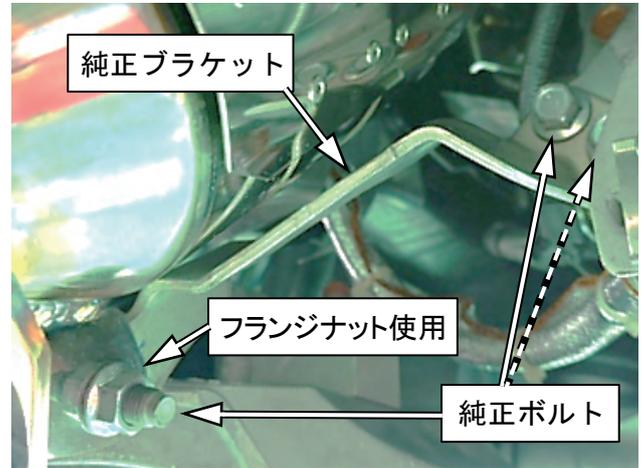
HKS METAL CATALYZER

図5-5 触媒L 下流部



純正ブラケット × 1 純正ボルト × 3 フランジナット × 1

図5-6 触媒R 下流部



純正ブラケット × 1 純正ボルト × 3 フランジナット × 1



注意

- 写真の純正ブラケットと触媒側ブラケットは、純正触媒と同様の取付け面となります。取付けの際は、本書の図や取外した純正触媒のウェルドナット位置をよく観察し、**取付け面を間違え無いようにしてください。**

- ② HKS触媒L・Rの位置を調整しながら、仮付けした純正ブラケット取付け面とHKS触媒ブラケットとの隙間が基準値内の位置になるよう調整します。(図5-7、5-8)

基準値 ブラケット取付け面 : 隙間 1mm以下

図5-7 触媒L 下流部
ブラケット取付け面 NG例

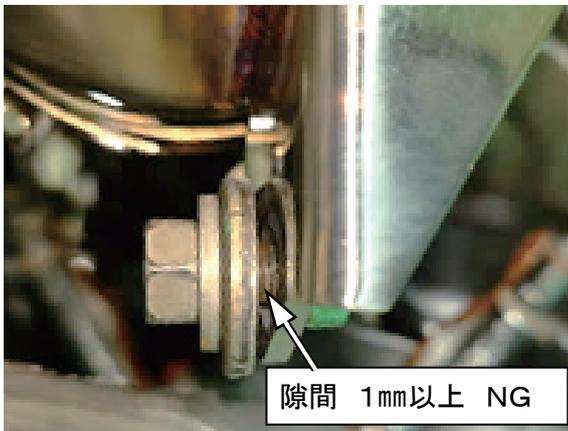
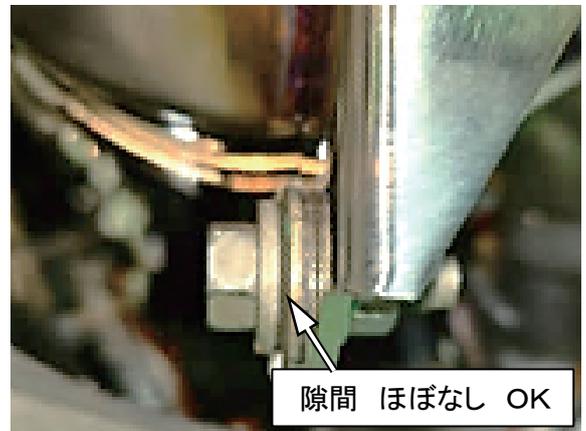


図5-8 触媒L 下流部
ブラケット取付け面 OK例



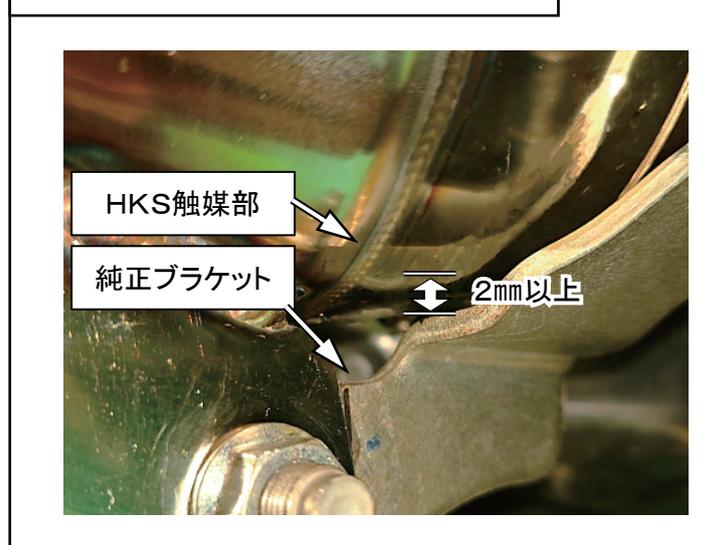
注意

- ブラケット取付け面の隙間が大きい状態で無理に締付けると、ブラケットや製品に無理な力が掛かり、製品の破損や思わぬ事故に繋がる可能性がありますので、取付け面の隙間が基準値内であること及びブラケット取付け位置が正規の位置であることを確認してください。

- ③ HKS触媒Lの位置調整後、仮付けした純正ブラケットとHKS触媒本体との隙間が基準値になるよう調整します。(図5-9)

基準値	クリアランス	:	隙間	2 mm 以上
-----	--------	---	----	---------

図5-9 L側 触媒部 ⇔ 純正ブラケット



- ④ 調整後、各部クリアランス (図5-10、図5-11) を確認し、ボルトを徐々に締付けて本締めを行います。

基準値	HKS触媒とボディの 各部クリアランス	:	隙間	15 mm 以上
-----	------------------------	---	----	----------

図5-10 触媒L 触媒部 ⇔ ボディ

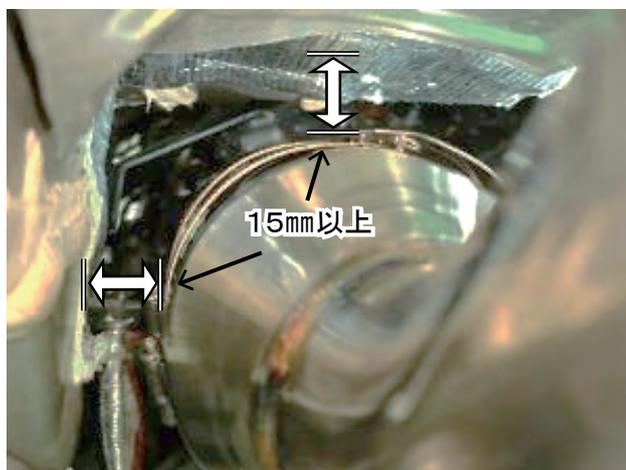
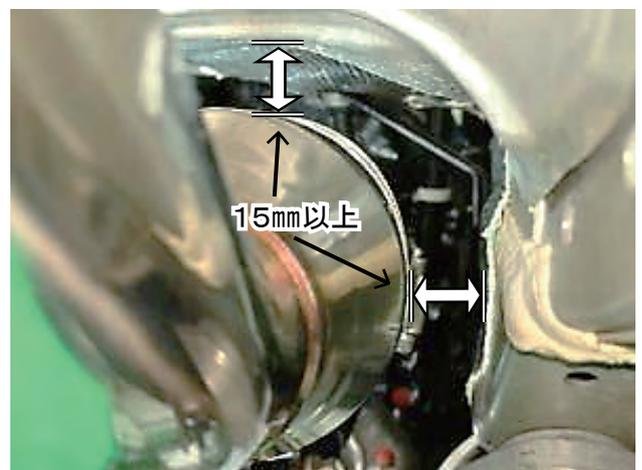


図5-11 触媒R 触媒部 ⇔ ボディ



HKS METAL CATALYZER

○ 触媒L 締付け手順と締付けトルク

締付けトルク N·m(kgf·m)

- | | |
|----------------------------|---------------------|
| I. 純正クランプ(図5-12) | 15 N·m (1.5 kgf·m) |
| II. 上流側ブラケット部(図5-13) A, B | 48 N·m (4.9 kgf·m) |
| III. 下流側ブラケット部(図5-14) C, D | 48 N·m (4.9 kgf·m) |

図5-12 I. 純正クランプ

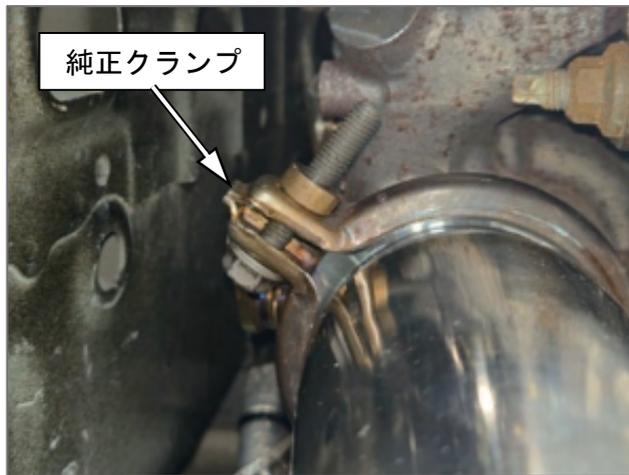


図5-13 II. 上流側ブラケット部 A, B

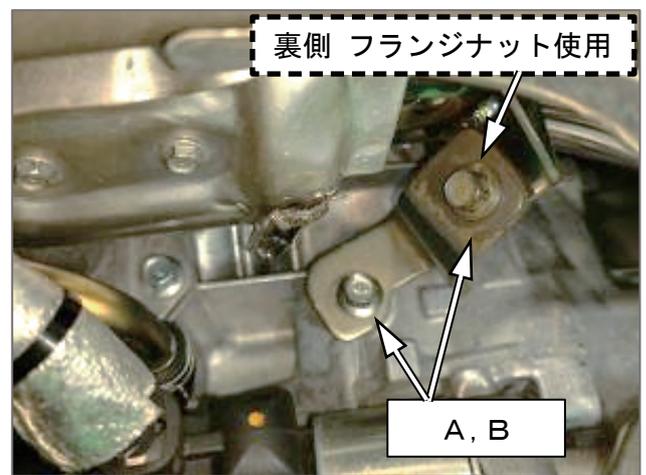
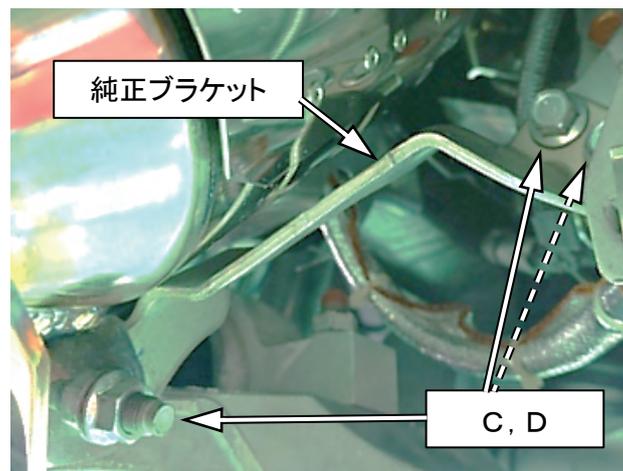


図5-14 III. 下流側ブラケット部 C, D



○ 触媒R 締付け手順と締付けトルク

締付けトルク N·m(kgf·m)

- | | |
|---------------------------|---------------------|
| I. 純正クランプ(図5-15) | 15 N·m (1.5 kgf·m) |
| II. 上流側ブラケット部(図5-16) A, B | 48 N·m (4.9 kgf·m) |
| III. 下流側ブラケット部(図5-17) C | 75 N·m (7.7 kgf·m) |
| D | 48 N·m (4.9 kgf·m) |

図5-15 I. 純正クランプ



図5-16 II. 上流側ブラケット部 A, B

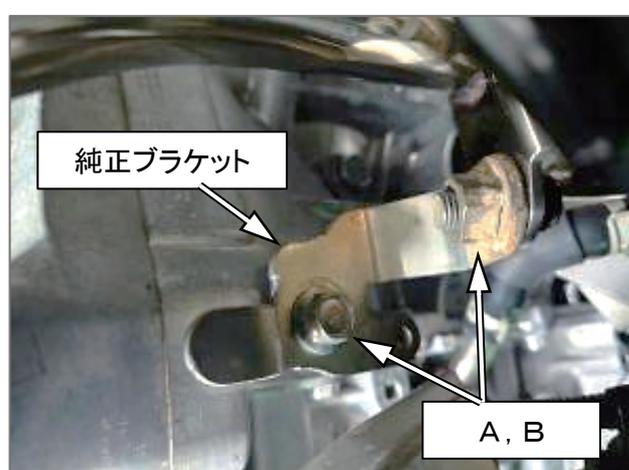
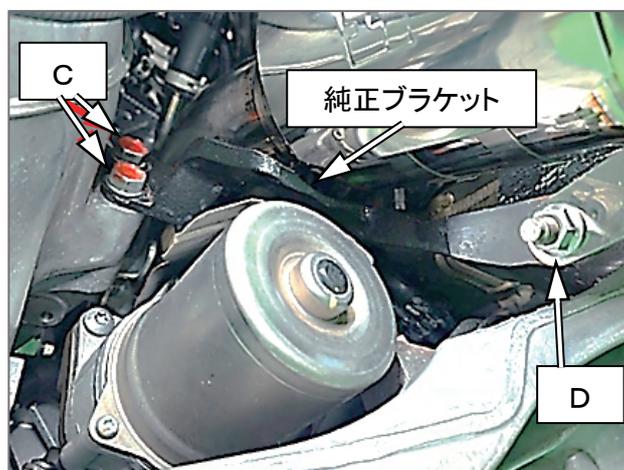


図5-17 III. 下流側ブラケット部 C, D



HKS METAL CATALYZER

⑤ 仮付けした遮熱板L・Rを図5-18、図5-19のように位置を調整し本締めを行います。

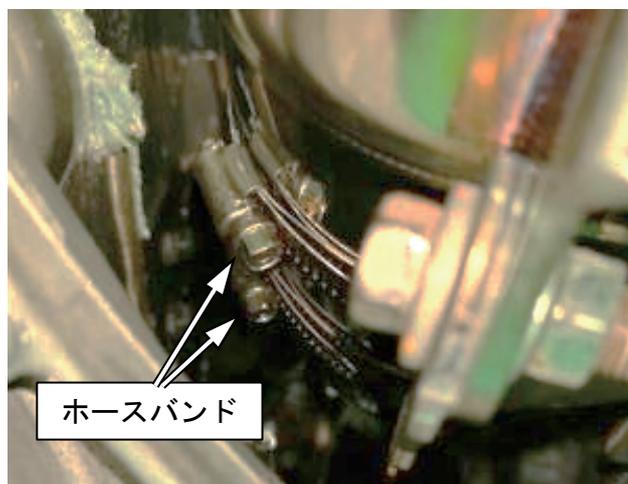
○ 遮熱板L・R 締付け手順と締付けトルク

締付けトルク N・m(kgf・m)

I. ホースバンド(図5-18, 図5-19)

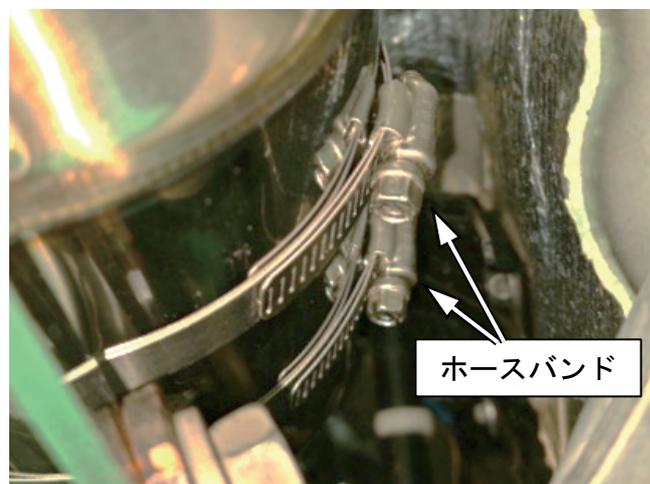
4 N・m (0.4 kgf・m)

図5-18 L側 遮熱部



HKS遮熱板排ガスプレート付 × 1 ホースバンド × 2

図5-19 R側 遮熱部



HKS遮熱板排ガスプレート無 × 1 ホースバンド × 2

⑥ 触媒についている純正O₂センサーのコネクタオスを各メインハーネス側コネクタメスへ差し込みます。

L側ブラケット部へハーネスを固定する際は、コネクタを差し込む前に図5-20、図5-21を参考に固定してください。

図5-20 L側 付属ブラケット部

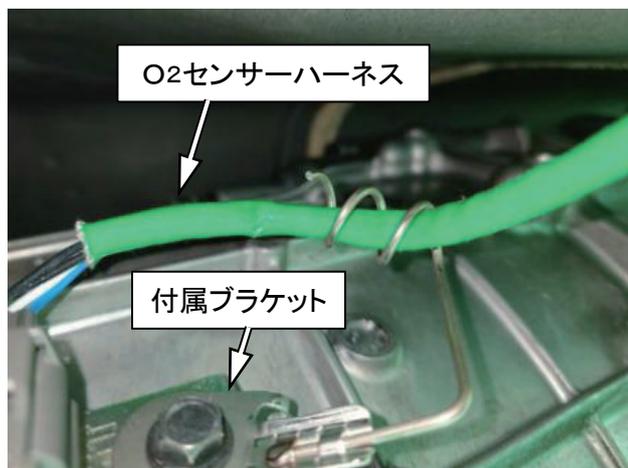
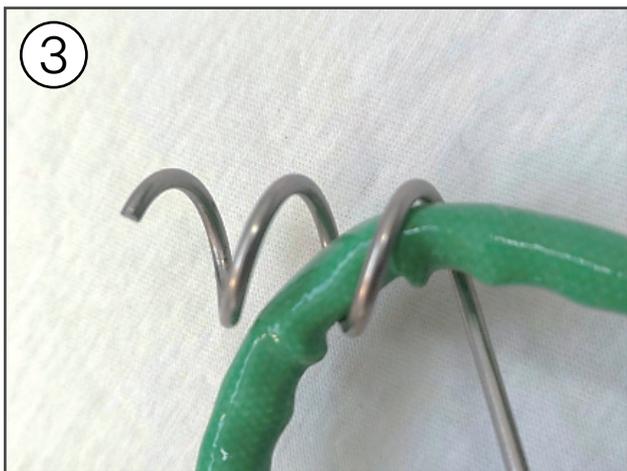
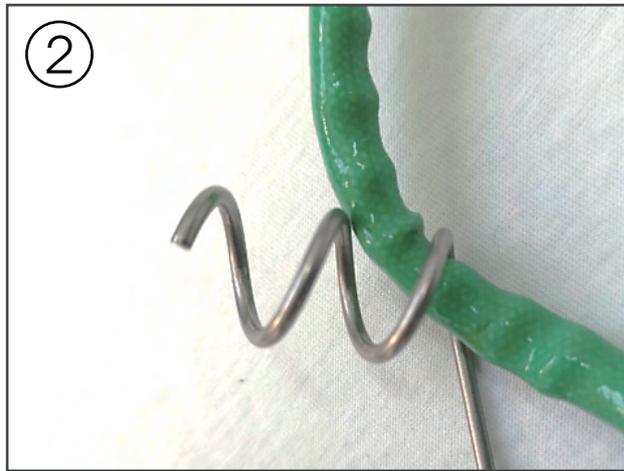


図5-21 L側 付属ブラケット部 O2センサーハーネスの通し方 (①~⑥)



HKS METAL CATALYZER

3. 取付け状態の確認

- (1) 取付け作業終了後、各部に干渉が無いことを確認してください。
- (2) エンジンを始動し、約2500回転で回して排気漏れや異常音を点検してください。
- (3) 試運転により、再度排気漏れや異常音を点検してください。
※取付作業終了後、必ず取扱説明書の「取付け後の確認」に従って確認作業を行ってください。

4. 取付け後の確認

- (1) 本製品を装着すると過給圧特性の変化が考えられます。過給圧を変更している場合はノッキングの有無や、最大過給圧の確認を行ってください。
必要であれば再セッティングを行ってください。



- 車両による個体差や、併用する部品により性能変化には差が生じます。同様にノッキング等の発生も一様ではないため、製品装着時には十分注意し問題が確認された場合は、セッティング状態と併用部品を検討してください。



株式会社 エッチ・ケー・エス
〒418-0192 静岡県富士宮市北山7181
<https://www.hks-power.co.jp/>

メタルキャタライザーキット

取扱説明書



Pursuing the Ultimate in Engine Performance and Efficiency.
HKS Company Limited.

取付けは必ず専門業者にご依頼ください。

取扱説明書を先に読んでから作業を行ってください。

本書はご使用前に必ずお読みください。

本書は、お読みになった後も本製品の側に置いて活用してください。

目次

	ページ
はじめに	1
製品についてのご説明	1
安全上の注意	2
取付方法	3
取付けを行う前に	3
取付後の確認	3
維持・管理	4
異常・故障等の対応	4
アフターサービスについて	4
譲渡等の際の注意	5
排ガス試験証明書について	5

はじめに

この度は、H K S 製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本書をよく読み、理解したうえで取付けを依頼してください。

取付けは必ず専門業者に依頼し、取付け終了後は本書に記載されている内容を守り安全にご使用ください。

本書は取付けを行う前に必ず読み、よく理解したうえで作業を行ってください。

ノーマルパーツの取付け、取外しはメーカー発行の整備要領書と本書を併用して作業を行ってください。

整備書がお手元に無い場合は、新たに購入してください。

製品についてのご説明

- 本書は本製品を安全に取付けていただき、あなたや他の人々への危険や損害を未然に防止するために守っていただきたい注意事項を記載しています。
- お客様又は第三者が、本製品及び付属品を誤使用したことにより受けた損害については、当社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品はノーマル車両及びH K S 製品を装着している車両への取付けを基準に製作されています。上記車両以外に取付けた場合は、本製品の機能・性能及び安全性について保証いたしかねます。
- 本製品は日本国内での使用を目的に設計されたものです。海外では使用しないでください。
This Product is designed for use in Japan only.
It must not be used in any other country.
- 本製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本書は、予告なく改版することがありますので本製品と本書の整合をご確認ください。
- 消耗部品や紛失部品および本書のご注文は、お買上げの販売店にお問い合わせください。部品を発注する際は、商品名・コードNo.・エンジン型式を注文先にお伝えください。コードNo. は本書のパーツリストに記載されています。
- 取付け終了後、本書”アフターサービスについて”に記載されている取付け業者名記入欄に必要事項を必ず記入してください。
- 本製品はノーマル車両に装着した際、道路運送車両法の保安基準第31条「ばい煙、悪臭のあるガス、有毒なガス等の発散防止装置」の基準に適合するものです。
- 車両によっては、本製品に交換する事で近接排気騒音が増加し、道路運送車両法の保安基準第30条「騒音防止装置」の基準に適合しない場合があります。

安全上の注意

本書では、下記のような記号を使用しお客様への危険レベルを示しています。



警告

- この表示を無視して誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性がある場合。



注意

- この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性がある場合、または物的損害の発生する可能性がある場合。

本製品を正しくお取扱いいただくために下記の注意事項を必ず厳守してください。



警告

- 爆発及び火災防止のために、次のことを守ってください。
 - ・換気のよい場所で作業してください。
 - ・可燃物を取扱う際は、火気に十分注意をしてください。
- 電機ショートによる電装部品の破損及び焼損・火災を防止するために、次のことを守ってください。
 - ・コネクタを取外す時は、断線しないようにコネクタを持って取外してください。
- 車両をジャッキアップする場合には輪止めをかけ、ジャッキは必ず所定の位置に当ててください。又、そのまま作業せずリジッドラックで支えてから作業を行ってください。
 - ・所定外の位置でのジャッキアップはバランスが悪いばかりでなく車両を傷つけるおそれがあります。
 - ・リジッドラックを確実にかけないと車両が落ちて怪我をしたり最悪の場合死亡するおそれがあります。



注意

- 本製品の誤使用は絶対に行わないでください。
 - ・誤使用したことにより異物がキット内に入り、最悪の場合エンジンが壊れるおそれがあります。本来の性能を損なうおそれがあります。
- 作業を始める前にキャタライザーの温度が約40℃位（手で触れて熱くない程度）に下がっていることを確認してください。
 - ・火傷をするおそれがあります。

取付方法

- 製品の構成部品をパーツリストに記載してあります。取付前に異品・欠品のないことを確認してください。
- ノーマルパーツの取付け・取外し作業はメーカー発行の整備要領書をよく読んでから行ってください。整備要領書がお手元にない場合はメーカーにてご購入ください。
- 本製品の取扱いは慎重に行ってください。落としたり、強いショックを与えないでください。
- ボルト・ナット類は適切な工具で確実に締付けてください。必要以上に締付けを行うと、ボルト類のねじ部が破損します。
- 取付け作業のため一時的に取外すノーマルパーツは破損又は紛失しないように保管してください。又、ノーマルパーツを取付ける際間違えて取付けないように、取外すノーマルパーツにはマーキングをしてください。

取付けを行う前に

- ★ノーマルパーツの取付け、取外しはメーカー発行の整備要領書と本書を併用して作業を行ってください。

取付け後の確認

始動直後は回転を上げないようにしてください。(アイドリング運転)

	始動前	始動後	停止後	走行後
ボルト・ナット類が確実に締まっているか	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
取付けた部品が他の部品と干渉していないか	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
取付けた部品がしっかり固定されているか	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
軽く空吹かしを2, 3度行ない排気ガスが漏れていないか		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>



- 仕様により燃調セッティングが必要な車両の場合、セッティング中の失火やレブリミッターにあてる等して、排気温度の過度の上昇が繰り返されると、キャタライザーが破損するおそれがあります。その場合、クレーム対象外となります。また、純正以外のECUを使用しないでください。純正以外のECUを使用した場合、クレーム対象外となります。

各部確認終了後、バンパ及びアンダーカバーを取外して作業していた場合には、元通りに取付けてください。

維持・管理

快適に運転していただくために、お車を運転する前には必ず日常点検を行ってください。

- 日常点検はドライバーの責任です。必ず実施してください。
- 本書に記載されている事項以外は専門業者に依頼してください。
- プラグは走行状況に応じて変更してください。
- オイルは定期的に交換してください。オイルを交換する際には、HKS指定オイルをご使用ください。

交換目安：3,000 ～ 5,000 km毎 又は、3～6ヶ月毎 に交換してください。

異常・故障等の対応



- 走行中、音等の異常を感じた場合は直ちに走行を中止し、原因を確認してください。キャタライザーの脱落が生じている場合には、エンジンを再始動しないでください。
 - ・専門業者に状況を告げ、修理を依頼してください。
 - ・その場で安全な修復が出来ない場合は、応急処置の方法を聞いて対応してください。作業はキャタライザーが十分冷えた状態で行ってください。
 - ・必ず専門業者の指示に従ってください。
最悪の場合、キャタライザー脱落による事故が起きるおそれがあります。

- 故障等の修理はお客様ご自身では絶対に対処せず、必ず専門業者に依頼してください。
- 走行中、異音・異臭・振動等の異変があった場合には本書に従って対処してください。

アフターサービスについて

本製品に関するお問い合わせは、専門業者又はお買上げの販売店にご相談ください。

取付け業者名	
電話番号	
担当者名	
お客様氏名	

譲渡等の際の注意

本製品を譲られるときは、必ず次のオーナーのために本書を一緒にお渡してください。
本製品を車両より取外す際には、必ず専門業者に依頼してください。

排ガス試験証明書について

- 本製品には道路運送車両法 保安基準第31条に基づく排ガス試験証明書の写しが同梱されています。継続車検時等において、証明書の掲示が求められる事がありますので、常時車両内に保管してください。

※「排ガス試験証明書」は車検合格を保証するものではありません。

- 一部車種において排ガス試験証明書の写しに車台番号を記入する欄があります。その場合、本製品購入後、使用する車両の車台番号を記入して保管してください。



株式会社 エッチ・ケー・エス
〒418-0192 静岡県富士宮市北山 7181
<http://www.hks-power.co.jp/>